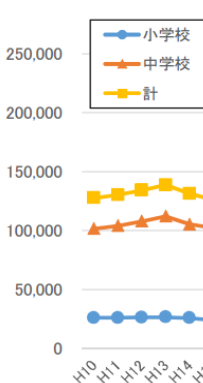


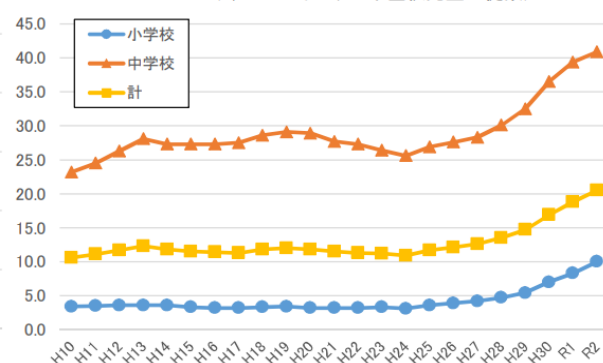
小・中学校における不登校の状況について

小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒数は196,127人（前年度181,272人）であり、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は20.5人（前年度18.8人）。不登校児童生徒数は8年連続で増加し、過去最多となっている。

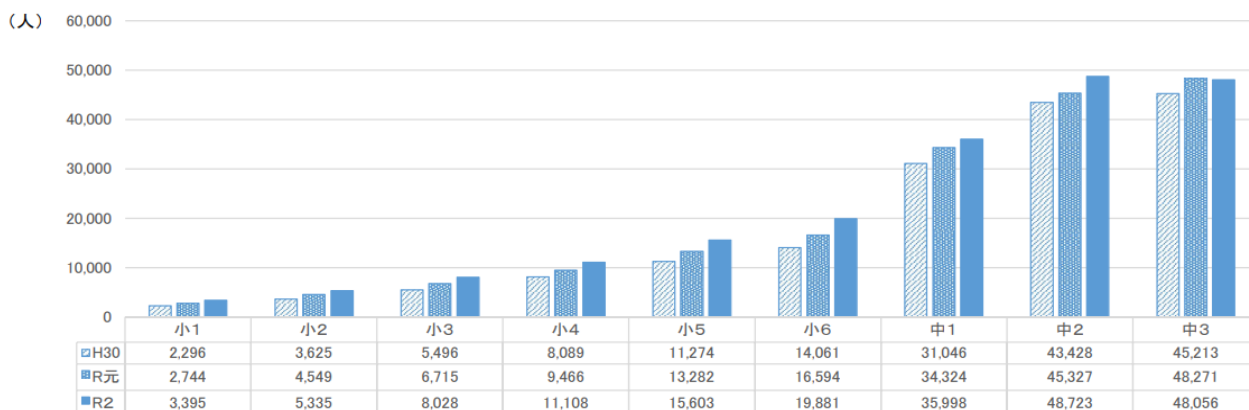
(人) 不登校児童生徒数の推移



(人) 不登校児童生徒数の推移
(1,000人当たりの不登校児童生徒数)



学年別不登校児童生徒数



<不登校のきっかけ> 不登校は、多様な原因が重複して起こっている

友人との関係（いやがらせやいじめ、けんかなど）	53.7%
先生との関係（先生がおこる、注意がうるさい、体罰など）	26.6%
勉強が分からない（授業がおもしろくない、成績がよくない、テストがきらいなど）	31.6%
クラブや部活動の友人・先輩との関係（先輩からのいじめ、他の部員とうまくいかなかったなど）	23.1%
生活リズムの乱れ（朝起きられないなど）	34.7%

「不登校に関する実態調査 平成 18 年度不登校生徒に関する追跡調査報告書」不登校生徒に関する追跡調査研究会 平成 26 年 7 月

2 不登校のきっかけ・休みはじめた学年・時期 より 抜粋